

# 街歩ook 田原

街あるつく田原  
令和6年12月15日(日) 第64号

## イルミネーションでまちなかが輝く

毎年恒例の

# イルミネーション点灯式

### ● 雨の中の点灯式

毎年恒例の11月第1土曜日に行われる「イルミネーション点灯式(まちなか賑わいづくり実行委員会主催)」が11月2日(土)に開催され、今年20回目を迎えました。大雨の予報の中、会場は中央広場(田原萱町交差点北東角)からセントファールセンターコートへ変更し、当初出演予定の田原市内中学校吹奏楽部の演奏は中止と

なりました。また、後半出演予定の2つのバンド演奏も残念ながら中止。大幅なスケジュールの変更となってしまいました。開始時刻の午後4時になっても、あいにくの雨の中でしたが、フリコノコの演奏と共にスタート。成章高校のボランティアのみなさんによるお菓子と光るブレスレットのプレゼントや、願い事を幸せの四つ葉のプレートに込めツリーに飾る企画など

が実施されました。

徐々に強くなる雨模様でしたが、楽しみに駆け付けたお客さんや買い物にきた足で寄ってくれた家族、子どもたちの笑顔がみられました。ボランティアの皆さんの声かけや着ぐるみの盛り上げで、小さなお子さんに喜ばれている姿が印象的でした。

カウントダウンが始まった午後5時30分には、30人程お客さんが集まり、セントファールのメインツリーが点灯されると、大きな歓声が起こりました。この他に中央広場、三河田原駅前広場、ラグララン、はなとき通り、田原駅前通り線も彩られました。そして今年もセントファールも20周年！記念のイルミネーションもお目見えしました。



中央広場も点灯



イルミネーションは令和7年1月13日(月)まで、毎日午後4時から午後9時まで点灯されます。



# 花マルシェ

11月30日(土)



## ～みんなでつくろう!世界に誇れる花のまち～

11月30日(土)午前10時から午後4時まで、ラグラランにて「花マルシェ」みんなで作ろう!世界に誇れる花のまち」が開催されました。風の強い寒い日でしたが、冬空広がる休日にもかかわらず、多くの方が来場しました。

JA愛知みなみによる花の販売、200本のカラーリングマムが噴水を飾るフローリングフラワー、イベント限定のフォトスポット、花のまちを題材にしたクイズラリー、キッチンカー&クラフトショップが出店し賑わいました。午後には、すくっと1階にて「染め菊&アレンジ教室」が行われ、16名が参加しました。菊を好きな色に染めるところからスタート。さまざまな種類の花をオアシスに生け、作品が仕上がりました。

「日本一の花の生産地」ならではのイベントとなりました。



**豊鉄グループ 感謝祭**

同日、三河田原駅にて「創立100周年事業豊鉄グループ感謝祭」が午前9時から午後4時まで開催されました。会場には鉄道ファンも多く訪れ、長蛇の列ができました。渥美線駅長体験をはじめ、東急鉄道の運転シミュレーター体験、鉄道会社グッズ販売、鉄道部品入札販売などが行われ賑わいました。



# まちなかハロウィンウォーク&ラグラランハロウィンマルシェ

10月27日(日)

## 合言葉でお菓子和スタンプをゲットしよう!



10月27日(日)、午前11時から午後2時30分までまちなかハロウィンウォーク、午前10時から午後3時までラグラランハロウィンマルシェが開催されました。

特設受付場にてスタンプカードが先着500名に配布されるとあって、会場のラグラランには早くから親子連れの長蛇の列ができました。スタンプカードが受け取れるのは、仮装をして参加すること、小学生以下で「トリックオアトリート」と合言葉が自分で言える子どもが対象で、参加者は思い思いの仮



装をして参加してました。スタンプカードを手にし、セントファードと田原まつり会館で合言葉を伝えスタンプをゲットし、スタンプを3個集めると光るミニオンズグッズがもらえるとのこと、最後まで楽しみながらがんばって歩く子どもたち。ゴール時には、たくさん笑顔がこぼれていました。参加者からは「友達と一緒に今年も参加しました」、「仮装も楽しみながら考えた」という声が聞かれました。

ハロウィンマルシェは、ついんらびっと、burn green、さしみ定食、サー



フラップス、blue moon、ココ、ムムム、たこでる、オーシャンサービス、かもめ、吾郷商店、はらべこドーナツ、フェニックス楽市、松井産業、ワシヤガンチ、RUGRATの15店舗が出店し、おいしいグルメやクラフト・アクセサリーなどを販売し多くの来場者で賑わいました。早い時間からりんご飴や焼きそばを楽しむ姿が多く見られました。

天気も良く、10月下旬とは思えないほど暖かな日曜日となり、芝生を駆け回る子どもたちは元気いっぱいでした。



街なかの元気印、発見!

# MACHICCO File.59

## 手作りした店内はブルーの世界 自慢のケーキや焼菓子、コーヒーが楽しめます

ラ クラルテ マキグチ タツロウ  
洋菓子カフェ La clarté 巻口 達郎さん

### ■開店までの生い立ち

洋菓子カフェ・ラクラルテの店主巻口達郎さんは、平成4年、現在の田原市加治町で生まれ、高校まで地元で育ちました。高校卒業後豊橋調理師専門学校で2年間製菓を学び、卒業後は豊橋市や名古屋市にあるケーキ専門店やコーヒー専門店に10年近く修業していました。愛知県内でお店の



**住** 田原市田原町汐見15番地  
**電** 0531-27-7745  
**営** 11:00~18:00  
**休** 月曜日、第2・4火曜日  
**P** 2台  
**HP** <https://la-clarte.square.site>  
**lm** @kulage clarte



物件を探したところ、地元田原市で今のお店を見つけたことができて、令和4年11月30日に開店することができました。

### ■オリジナリティのある店づくり

お店のコンセプトのひとつである海を表現するための手段として、椅子・テーブルをはじめとした一部の置物を父親と共働りで手作りしたそうです。その甲斐もあって、水色・青色に彩られた雰囲気仕上げられたと

仰っていました。

綺麗な青色のケーキの他にも、イチゴショートやガトーショコラ等が陳列棚に並んでいます。一方窓側には自慢の焼き菓子が所狭しと並んでおりどれにしようか迷ってしまいます。隣のミニスペースにはテーブル席があり、店長自ら淹れた自慢のクラルテブレンドコーヒーや紅茶のアルグレイヤココア、各種ジュース等をゆっくり飲んで寛ぐことができます。もちろんケーキと一緒に注文もOKです。



### ■趣味と美益を兼ねて

元々ものづくりが好きなので、店に置くオブジェ等を創ること最近ではまっています。海のイメージ作りに表浜海岸で拾ってきた流木や貝殻を使ってイーゼルや置物を創り、お店に飾ることで海の雰囲気づくりに役立っています。

### ■これからの店づくり

お菓子を食べた頂いた誰もが笑顔になるような美味しいお菓子を作り、コーヒー屋としても新しいブレンドの開発やテイクアウトができるようにしたいと考えています。



### ■最後に

田原は生まれ育った地元です。田原で店を開店できたことほとても嬉しく、地元の経済を回す一員であることに誇りも持っています。田原市は海と花の街、海をモチーフとしてこれからも田原市を盛り上げていきたいと語って頂きました。